

小谷場中だより

川口市立小谷場中学校

〒333-0857

川口市大字小谷場1156番地

TEL 048(267)1055

FAX 048(267)1069

教育目標〈自主 協働 創造〉 校訓〈力の限り〉

5月号

令和4年5月2日

成長を願う

校長 野本 慶人

「♪屋根よ〜り高い こいのぼり〜♪」童謡こいのぼりの冒頭です。最近では住宅事情もあり、屋根より高いのぼりを立てて、何匹ものこいのぼりを泳がせている家庭もかなり減りました。学校の周りを見回してもほとんど見ることはありません。こいのぼりの由来は江戸時代に遡るとされ、端午の節句に男の子の誕生と健やかな成長を願い、外に幟[のぼり]を立て、鯉の絵を描いたことが始まりのようです。また、「端午の節句」として、祝日となった5月5日のこどもの日とも絡み、5月の風物詩として「こいのぼり」となっているようです。

さて、本校にもこいのぼりに負けない元気な1年生が入学し、早ひと月が経とうとしております。この1か月は、あいさつの仕方や教室移動のやり方等、集団生活の過ごし方を中心に学び、今は基本をしっかり身につけているところです。先日の新入生歓迎会では、生徒会、委員会活動、部活動の内容についての詳細をそれぞれが工夫し、楽しく伝えることができました。2、3年生も「先輩」として成長を見せてくれた時間でした。

話は変わり、令和4年度埼玉県学力・学習状況調査を5月11日に実施します。これは「既習の内容がどれだけ身につけているか」という視点で、生徒個々が受けてきた調査をデータ化し「一人一人の学力がどれだけ伸びたか」を見ることのできる埼玉県独自の調査となります。

調査と言っても、いわゆる5教科のテストです。5教科のテストの他にも「**学習ルールやマナー、勉強に対する意識等をアンケート回答する質問紙**」調査があります。それを集計し、学力向上につながった要因、また、伸び悩んでいる要因は何であったかを分析し、学校、保護者、生徒にフィードバックすることで、一人一人の力を確実に伸ばすポイントがわかります。また、これをもとに「目標設定」と「家庭学習の習慣化」を促そうということで考えられたものです。

昨年度の学校評価アンケートでは、生徒も保護者も「**家庭学習が身につけていない**」という結果が浮き彫りになりました。今年度の県学力・学習状況調査でも、昨年度からの生徒個々の「学習の伸び」が結果として出ますが、その時、できなかった問題自体をやり直すことは、とても効果のある活用方法です。さらに今の生活習慣や学習習慣とあわせて自分を見つめ直し、**学習効果のある生活要素を日常に取り入れる**ことで、かなりの効果が期待できます。勉強はしているが、なかなか結果が出ないと思っている生徒は、是非、自己分析の機会としてください。そのあとは中間テストも続きます。授業でわかったことは「理解」しただけで、記憶としては残りませんが、それを**繰り返すことで「定着」し、そこで初めて「身についた**」と言えます。

家庭学習を習慣として身につけさせてほしいのは、保護者としても学校としても同じです。ここは、知恵を出し合っていきたいものです。この後、連休が続きますが、ゆったりとした家族団らんの中で、生活習慣や学習習慣について話題にして、それを振り返るいい機会かもしれません。連休明けも五月晴れの空に泳ぐこいのぼりのように、元気よく登校してくることを願っております。